

学科目	科目の主題	科目の到達目標	ディプロマポリシーの項目番号													
			○:DP達成のために設定された到達目標と関連性がある (※1つの達成目標に対して最大3個まで)													
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13	DP14
法律学概論	法律とは何か、法律は私たちの日常生活とどのように関わっているのかについて理解を深める	1. 人権に関する基本的な知識を取得し、解釈の方法や裁判例の読み方を身につけることができるようになる。 2. 国や地方の政治が動く仕組みを理解し、自身がその構成員であるということを感じることができるようになる。 3. 論理的な文章が書けるようになる。			○											
社会福祉学概論	社会福祉に関する基本的な価値、知識、技術を学び、現代の社会問題を通して、社会福祉の法制度や福祉の担い手について理解する	1. 社会福祉学に関する基本的な知識(価値、技術含む)を習得している 2. 日本で生活する様々な人々が抱える社会問題に対する社会福祉(制度、政策含む)の意義を説明できる 3. 専門機関、事業所、NPOなど福祉の担い手について理解している		○						○				○		○
環境防災学概論	自然災害と環境問題の関係を理解し、防災力向上と環境保護の統合的アプローチについて学ぶ	1. 自然災害のメカニズムと影響を理解している 2. 環境保護と防災を統合的にアプローチできる 3. 地域コミュニティのレジリエンスについて考えることができる	○	○					○						○	○
健康管理論	健康増進のための医療・医学の概要を学ぶ	1. 健康に影響する生活要因(食事・運動・休養など)を理解している 2. 食生活による疾病への影響を理解している 3. 健康を阻害するリスクが理解でき、予防策を提案できる	○	○												○
対人コミュニケーション	コミュニケーションの基礎的知識と技術を学び、演習等も行いながら、実践で有効に活用できる能力を習得する	1. コミュニケーションの基礎的知識と技術を理解し、具体的なコミュニケーション課題に対応できる 2. 異文化理解と多様性への配慮を持って他者と関われる 3. フィードバックや傾聴などの実践スキルを身につける	○	○								○	○		○	○
ストレスマネジメント	現代社会における効果的なストレスマネジメントの理解と実践	1. ストレスの科学的メカニズムと心身への影響を理解している 2. 呼吸法、リラクゼーション技法、時間管理などの実践的なストレスマネジメントスキルを習得し、日常生活で効果的に活用できる 3. 他者のストレス状況に配慮し、ストレスに強い共創的な環境づくりに貢献しようとする姿勢と視点を身につける	○	○												○
化粧と健康	心身の健康維持や向上に寄与する重要な手段としての化粧について学び、正しい知識を身につけ、化粧と健康の関連性への理解を深める	1. 人の肌と化粧品成分の関係についての基礎知識を理解している 2. 現代社会における化粧文化について理解している 3. 健康的な心身を維持するための化粧の理論と技法を理解している	○	○								○		○		○
メディアリテラシー	多様化するメディア社会における批判的思考と情報活用力の養成:メディアリテラシーの理論と実践	1. 多様なメディアの特性と社会的影響を批判的に分析することができる 2. 情報の信頼性を分析・評価する能力を修得している 3. 主体的に情報を選択し、責任ある発信を行う姿勢を身につけている	○	○	○								○	○	○	
情報コミュニケーション演習	情報を効果的に整理・伝達するスキルを学ぶ。写真、動画を含め、情報の収集と編集の方法を理解しつつ、企画立案、デザイン、プレゼンテーションの基礎的知識と技術を身につける	1. AIを含むデジタルツールを活用し、現実的かつ創造的な企画を構築することができる 2. 情報を視覚的にわかりやすく伝えるためのデザインに関する基本知識を有している 3. AI生成ツールを活用しながら、自分の考えを明確に他者に伝えることができる		○					○	○						
ロジカルシンキング	情報を論理的に読解・思考して表現するための技法と表現力を修得する	1. 日本語を分析的に捉える方法を理解している 2. ロジカルシンキングの技法をレポート作成に活用できる 3. ロジカルシンキングの技法のプレゼンテーションに活用できる				○										
生成AI活用	生成AI時代の情報リテラシー:基礎知識から実践的活用まで	1. 生成AIの特徴と限界を理解している 2. 効果的なプロンプト設計と結果活用ができる 3. AIを用いた創造的な問題解決法を実践できる	○					○	○							○
色彩とデザイン	色彩の基本理論と配色について学び、デザインにおける色彩の役割と効果について理解を深める	1. 色彩の基本理論と配色についての知識を習得する 2. カラーコーディネートによる視覚的、心理的効果を理解している 3. グラフィックデザインにおける色彩の専門知識を習得する	○	○							○				○	○
情報デザイン演習	本授業では、AIのサポートを活用しながらも、自らのクリエイティブな判断を発揮できるスキルを身につけることを目指す	1. DTPとデジタルメディアにおける情報編集の理を理解する 2. グラフィックデザインの基礎知識を身につけ、Adobe CCなどのツールを習得する 3. AI生成技術を理解し、デザインの実践に応用する力を養う			○				○							
ユニバーサルデザイン	衣・食・住のすべてにおけるユニバーサルデザインの基礎知識と幅広い視野による思考力を修得する	1. ユニバーサルデザインの基礎知識を理解している 2. 生活環境とデザインの関係性を理解している 3. 他者の視点に立ち、より良い社会のためのデザインについて提案できる	○	○							○					○
ブランドデザイン	各業界におけるブランドデザインの基礎知識とブランディング技法について学ぶ	1. ブランドデザインの基礎知識について理解している 2. 各業界のブランドストーリーについて理解している 3. ブランド拡張に関する企画を考案しプレゼンテーションできる		○			○									○
プログラミング基礎	Pythonを用いたプログラミング思考の入門:変数・条件分岐・ループ構造の基礎から簡単なプログラム開発まで	1. プログラミングの基本概念と構文を理解し活用できる 2. 簡単なアルゴリズムを設計・実装できる 3. 基礎的なプログラムを自力で作成・修正できる	○						○							
プログラミング応用	プログラミング実践力の養成:データ構造・オブジェクト指向プログラミング・効率的アルゴリズムの実装	1. 目的に応じて、アルゴリズムを設計・実装できる 2. オブジェクト指向の概念を理解し活用できる 3. サンプルプログラムをもとに、実用的なプログラムを作成・修正できる	○						○							○
社会調査入門	社会調査の意義、歴史、類型などの基本的事項と、社会と統計の関わりを理解する	1. 社会調査の意義と歴史を理解している 2. 社会調査の多様な類型を理解している 3. 社会調査によって収集されたデータと統計のかかわりを理解している	○	○												
社会調査法	社会調査によって資料やデータを収集し、分析しうる形にまで整理していく具体的な方法を修得する	1. 質問紙調査法に関する計画・実施方法を理解している 2. 社会調査の調査票を作成できるようになる 3. データを分析できるように、調査で得られた情報をコーディングして入力、編集ができる	○	○			○									
社会データ分析I	統計を理解し、使いこなすために必要な「統計リテラシー」を修得する	1. 記述統計に関する基礎知識を身につけ、適切にデータを扱うことができる 2. Excelを用いて、データを数値やグラフで適切に要約できる 3. インターネットから公的統計データ等入手し、適切に活用することができる	○						○	○						
社会データ分析II	推測統計の基本的な考え方を学び、統計解析ソフトウェアを用いて社会データの実践的分析演習に取り組む	1. 統計分析ソフトウェアを用いて、記述統計量の算出やグラフ作成を行い、分析結果を簡潔にレポートすることができる 2. 推測統計の基本的な考え方を説明することができる 3. 統計分析ソフトウェアを用いて、t検定、相関分析、カイ二乗検定を行い、分析結果を簡潔にレポートすることができる	○						○	○					○	

